

令和3年12月19日執行

旭市議会議員一般選挙公報

旭市選挙管理委員会

まさとし いいじま正利の5つの政策

- ① コロナ対策とアフターコロナの経済回復
 - ① 感染予防の徹底と病床の確保
 - ② 1日も早い全市民へのワクチン接種
 - ③ コロナ禍の市民・事業者を強力に支援
 - ④ アフターコロナの商工業支援
- ② 暮らしの安心・安全
 - ① 地域の防災力の強化
 - ② 津波・地震等の避難場所整備
 - ③ 「旭市津波避難計画」の早期完了を推進
 - ④ いつでも市民目線で各地区の声を市政へと反映させます
- ③ 子ども・子育てを支援
 - ① 子どもたちや子育て世代が健やかに暮らせる環境づくり
 - ② 子育て世代への経済支援
 - ③ 保育施設や公園の整備
- ④ 全国に誇る農業をもっと推進
 - ① 農業生産額全国6位のさらに上を目指すため、農業特区を申請します
 - ② 地域の特性を活かした農業活性化
 - ③ 地元農産物のブランド化
- ⑤ 平等な課税整備
 - ① 都市計画税の見直しを図る
 - ② 全ての市民が平等に恩恵を受けられる課税の仕組みづくり

市民のための行動力

いいじま正利
まさとし

生年 昭和39年2月4日生まれ(57歳)
学歴 旭市立矢野小学校卒業、旭市立第一中学校卒業、県立旭商業高校卒業

現職 建設経済審議会委員、旭市保健医療協議会会長、旭市立第一中学校校長、旭市立第一中学校教頭、旭市立第一中学校教員、旭市立第一中学校教員、旭市立第一中学校教員



いいじま正利

大奮闘の旭中央病院 医療従事者の方々に慰労金を!

いまは新型コロナウイルスの感染者数が激減し、日常生活が戻りつつありますが、今夏の感染拡大時には救急患者の受け入れ先がすぐに決まらず、深刻な救急車たらい回しのケースも全国で多発。ニュースでも大きく取り上げられました。このような状況下で、「救急車を断らない」を掲げ、私たちの旭中央病院は大奮闘してくれました。旭中央病院は、国・県の要請によりダイヤモンドプリンセス号の乗員を始め多くのコロナ患者を受け入れてきたのですが、医療現場で働く皆様は、感染の恐怖に怯えながらも強い責任感と使命感で、現場を支えてくださっているのです。このような方々を、私は旭市議会議員の一人としてだけでなく一市民としても、ありがたく誇りに思っています。

私は、旭中央病院で働く医療従事者の方々に心からの感謝・激励の気持ちとともに、国・県・市独自の慰労金給付をすべきとの提案をしております。

- ① 医療従事者の待遇改善
- ② 人手不足の解消

旭市の市道で、合併当時から引き継いだ生活道路では未舗装の箇所が数多くあります。道路側溝がないなど、いわゆる未整備な状況にあるところも存在しています。わずかに幅員が足りないというだけで舗装ができないというのでは理不尽というものです。毎日住民が利用する生活道路および排水については多面的に検討を加え、早急に整備していくべきです。



木内きんいち

3つのつばやき

- ① 旭市の災害に対する安心安全対策
- ② 攻めの農業、観光業の推進により、雇用を増やし、子育て支援の更なる充実により旭市の人口を増やす
- ③ 二元代表制の確認

有田恵子のプロフィール

学歴：早稲田大学政治経済学部卒
英国ロンドンアビーインターナショナルスクール留学

職歴：山一証券、スイス銀行(現UBS)、ECC 英語講師、旭市議会議員(2回)
株式会社グロリアコーポレーション代表取締役(現在)

資格：教員免許、ISO9001 審査員、保育士、介護福祉士、ケアマネージャー、調理師、一級小型船舶(特定)、華道(師範)

趣味：日本舞踊(若柳流名取)、茶道、着物着付け、卓球、旅行(60カ国訪問)



有田恵子

ママが産み育てやすいまちに

- 産後ケア関連事業の充実/児童館・病児保育施設の設置拡充/保育所等申請・連絡網のオンライン化
- 子供たちが誰一人取り残されずに、安心して大人になれる環境を
学童の夏休みお弁当支給制度導入/不登校児童生徒支援/ヤングケアラー支援/放課後の居場所づくり
- 都市部に出なくてもたくさんの働く選択肢を
新規就農支援/起業支援/核家族子育てママも共働きフルタイムを無理なく選択できるサポート
- いくつになっても生きがいを持てるまちに
公共交通機関の利便性向上・車がなくても生活しやすいまちづくり/同年代~多世代交流の場を地域ごとに
- 議会・行政から働き方改革を。女性が活躍しやすい社会づくり
市職員の労働環境改善/ワハラ・セクハラ防止体制/ライフステージに合った働き方を男女ともに
- 分かりやすく開かれた市政を。市民の声が届くまちに
SNS発信/市民が一番近い議員を目指して/積極的な情報開示/定期活動報告

さきやまはなえ 2期目の挑戦!

東京都文京区生まれの32歳。
8歳から旭市(旧海上町)で育ち、現在は琴田地区在住。
母子家庭であったうに、12歳の時に母親が倒れ、経済的困難や進路について行き場のない悩みを抱えてきた。大人になっても介護や子育てと仕事の両立と、悩みは尽きず離婚も経験。女性ならではの生きづらさ、子供たちが抱える問題を、自ら困難を抱えてきた当事者として、行政へ声を届ける役割を担いたい。純粋な強い想いで今年7月、市議補欠選挙に立候補・初当選1期目。夫と共に小学生・保育園児3人の女の子を育てている現役ママ。



無所属 はなえ

32歳

旭が好きだ

旭だから出来ること
旭じゃなきゃ出来ないこと

- 旭の野菜を世界のブランドに
- 堤防を旭の文化芸術を伝える場として活用する
- パイオ技術開発施設誘致(畜産産業廃棄物の活用、フードロス対策)
- 市内巡回保育園バス
- 旭の米を使った製品開発のために、米粉工場
- 旭の米を使った製品開発のために、米粉工場
- 旭の米を使った製品開発のために、米粉工場
- 旭の米を使った製品開発のために、米粉工場

旭だから出来ること
旭じゃなきゃ出来ないこと

- 旭の米を使った製品開発のために、米粉工場
- 旭の米を使った製品開発のために、米粉工場
- 旭の米を使った製品開発のために、米粉工場
- 旭の米を使った製品開発のために、米粉工場

プロフィール
●日本女子大学英米文学科卒、同年私立保育園開園(浦安市)
●浦安青年会議所会員、浦安シーサイドライオンズクラブ会長
●4期14年浦安市議会議員、現在、旭市会社役員



戸村ひとみ

無所属

市民の命と暮らしが一番!

未来に向かってどの様な旭市を創るのか、その案を示す責任が議会にはございます。僕は、「日本の真ん中で輝く、希望にあふれ誇りある旭市を創る」その大きな夢に向かって、この8年間全力で活動してきました。夢を夢のまま終わらせてはならない、新しい時代の旭市を創るため、皆さんと共に歩ませて頂きますので、よろしくお願い致します。



感謝
過去にとらわれず
未来を悲観せず



林はるみち

地域の声を市政に

地域と旭市の抱える様々な課題も、皆さんと共に考え、明日につながる提言も積極的に進んでいきます。次の世代を担う子供たちが、「愛すべきふるさと旭」として誇りをもてるまち、お年寄りが生涯活躍できるまち、そして誰一人取り残されず安心して暮らせるまちづくりを、皆さんと共に確実に取り組んでいきます。

- 島田わたるの基本的な4つの考え方
 - ① 旭市の最大の魅力である温暖な気候と優位性を再確認し、足腰の強い産業づくり
 - ② 地域の特徴を生かし、旭市全体でバランスの取れたまちづくり
 - ③ 地域の発展に貢献した先人たちに敬意、確かな未来へつなげるまちづくり
 - ④ ふるさとを愛し、暮らし続けたいまちづくり
- 島田わたるの6つのビジョンと提言
 - ① 災害に強いまちづくり
 - ② 安心・安全なまちづくり
 - ③ 豊かで住みやすい夢のあるまちづくり
 - ④ 高齢者に優しいまちづくり
 - ⑤ 未来を担う子供たちが健やかに成長できるまちづくり
 - ⑥ 持続的に発展できるまちづくり



島田わたる

看護と福祉のエキスパート! 伊藤はるみ

“小さな声を聴く力”で旭市のために5つの政策ビジョンを実現します!

- ① 健康と福祉の充実した「まちづくり」
 - ② 安心・安全に暮らせる「まちづくり」
 - ③ 子育て支援と教育の充実した「まちづくり」
 - ④ 環境にやさしい持続可能な「まちづくり」
 - ⑤ 活気あふれる豊かな「まちづくり」
- 【略歴】旭市三川在住。看護師として10年間勤務した後、地域包括支援センターの職員として、高齢者の相談支援や介護サービスに従事。県立鎌子高等学校卒。公明党東総支部 旭支部副支部長。



伊藤はるみ

公明党公認

備考：この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版により縮小して印刷したものです。

令和3年12月19日執行

旭市議会議員一般選挙公報

旭市選挙管理委員会

投票日

12月19日(日)

午前7時～午後8時

- 入場整理券に記載してある投票所で投票できます。
- 入場整理券を万一紛失した場合でも投票できますので、投票所の係員に申し出てください。
- 投票日までに市外へ転出した方は、投票できません。

期日前投票

12月18日(土)まで

午前8時30分～午後8時

- 旭市役所
- 海上公民館
- 旭市保健センター (旧飯岡保健センター)
- ひかた市民センター

※左記のどの投票所でも投票できます。

※密を避けるため、期日前投票を積極的にご利用ください。

投票所における感染症予防対策にご協力をお願いします

- マスクの着用、検温、手指消毒等にご協力ください。
- 周りの人との距離を保つ (ソーシャルディスタンス)
- 鉛筆かシャープペンシルを持参して使用することも可能です。